

農協だより

JAくしろおおた

2018

10

No. 11



牛乳早飲みリレー地区別部門優勝チーム 尾幌地区

index

目次

■ JAトピックス

- 全道停電「ブラックアウト」発生による発電機対応 2
- JA釧路太田酪農祭開催 4
- 2番草サイレーシ調整作業終了 8
- 新・農業人フェア参加 9
- 浜中小学校の生徒が牛乳工場見学 9
- 地震・停電被害を考慮して産業感謝祭中止 10

- 地域の出来事 10
- JAグループ通信 11
- 宮農ホットライン 12
- 10月の行事予定 13
- みんなの広場・編集後記 14

JA 釧路太田農業協同組合

■発行：厚岸郡厚岸町太田5の通り19番地1 TEL.0153-52-7151
■発行日：平成30年10月1日 ■編集：金融課 ■印刷所：(有)厚岸印刷



←JA釧路太田公式ウェブサイト
www.ja-kushirooota.or.jp/

ja 釧路太田





全道停電 ブラックアウト 発生による 発電機対応



農家に借りた発電機



J Aの発電機を運用し搾乳中！

「ブラックアウト」

停電。特に、発送システム（発電・送電・変電・配電を併せた電力の供給システム）の全系崩壊を指す。



JA女性職員による炊き出し(夜食のおにぎりを準備中)

この間、JA女性職員による、関係者への炊き出しをはじめ、組合員の方々にも飲食物の差し入れをいただき感謝申し上げます。

7日午後9時に町内の酪農家とJA事務所にも通電し、停電が解消されました。その後、現地にいる職員にも連絡が入り、安堵と歓喜の音が溢れていました。

町内の酪農家で搾乳が一巡したのは、7日の午前7時30分で、24時間以上搾乳できない農家もあり、搾乳が遅くなった多くの農家では、乳房炎になった乳牛が多発しました。町内の一部では、6日未明や7日早朝に通電した地域もありましたが、通電していない地域については、7日(金)の早朝より発電機の運用を前日同様に開始しました。

発電機の台数も制限される中、唯一の連絡手段である携帯電話も、6日夜には通信できなくなり、発電機の円滑な稼働にも支障をきたしました。

町内では組合長・副組合長をはじめ男性職員が5時30分に全員集合し、JA所有の発電機5台と、農家所有の発電機8台を借りながら、地域内で搾乳の出来ない農家を対象に、電気工事関係者とJA職員がセットになり、発電機の運用を開始しました。

平成30年9月6日(木)の午前3時8分ごろ、北海道胆振地方中東部を震源として発生した震度7の地震の影響により、北海道の全域で停電となる「ブラックアウト」が発生しました。

「ブラックアウト」の影響により、乳業工場での生乳受入もできなかつたため、集荷日の生乳を含め、概ね2日間以上の生乳が廃棄される結果となりました。

7日夕方より、乳業工場も稼働したことにより、ミルクローリーも夜中まで運行し、地域の生乳廃棄を少なからず、回避することもできました。

結果的には、約350tの生乳廃棄と、営農畜産課の間取り調査で400頭ほどの乳牛が乳房炎になったことが明らかになりました。早急な対応として、PLテスターなどの乳房炎対策資材を全戸配布。

通電後も、生乳廃棄をせざるを得ない乳房炎などの疾病も多発しており、粗飼料の品質低下での乳量減産も心配される中で、少しでも生乳生産が回復することを願っております。

停電による影響で、生乳廃棄や乳房炎など被害を受けられた酪農家の皆さまをはじめ、搾乳が出来ない農家のために、所有している発電機を貸して頂いた組合員の方々、発電機運用による電力確保にご協力いただいた関係者の皆さま大変ありがとうございました。

停電時にJA事務所に提供いただいた方々

菅原さま コロツケ

江幡さま ゆでたまご

兵頭さま 栄養ドリリンク

ジャイアントさま お弁当

そのほか、現地で職員や関係者に、飲食物を提供してくれた多数の組合員の皆さまもいらっしゃいました。

ご提供いただき本当にありがとうございます。

購買課からのご案内

地震や台風、落雷や吹雪による自然災害時の停電のための準備は万全ですか？



大切な牛を **災害による停電** から守る!



地震 風水害 事故

停電でこれらの電気設備が止まったら？

乳房炎 生乳廃棄

そんな緊急時の助けに **電ノ助**

電ノ助1台で、主要な電気設備が動かせます!

- 特長 ① PTO駆動なので、方が一の時でもすぐに使用可能
その バッテリーの自然放電や燃料、オイルの劣化の心配がありません。
- 特長 ② 軽量・コンパクト設計
その エンジン搭載型発電機と比べて設置面積が約半分です。
- 特長 ③ 自動電圧調整器で高品質の電気を安定供給
その コンピュータ制御機器も使用できます。
- 特長 ④ 一点吊り、フォークリフトのどちらでも移動可能
その
- 特長 ⑤ 高性能発電機搭載で連続運転が可能
その (トラクターの燃料切れにはご注意ください。)
- 特長 ⑥ 入力回転速度540回転の世界標準に対応
その
- 特長 ⑦ 密閉度が高く、風雨に強いので屋外でも使えます。
その (屋外で使用する際には、感電に注意願います。)

購入を希望される方は、購買課 小川までご連絡ください。



JA創立70周年記念 JA釧路太田 酪農祭開催



工藤あやのさん



来場され祝辞をいただいた
 若狭厚岸町長



開会の挨拶を述べる河村組合長



開会宣言をする鹿能青年部長

平成30年9月15日(土)午前10時30分より、格納庫前にて第5回酪農祭が開催されました。

15日は秋晴れの澄み渡る青空の中、屋外での行事としてはちよつと暑いくらいの天候にも恵まれ、10時30分に鹿能友樹青年部長の開会宣言とクラッカー(1度目は不発)の合図により、飲食店などの販売が始まりました。

また、太田農村公園P.G場では、午前8時よりパークゴルフ大会も開催され、総勢30名の男女により、日頃の練習の成果を競いあう熱戦が行われました。

11時からの開会式では、主催者である河村組合長より、「9月6日未明に発生した胆振東部地震と停電などにより生乳廃棄や乳房炎の発症の影響がある中で、酪農祭の開催についても賛否両論はありましたが、JA創立70周年の節目として、地域が明るくこの困難を乗り越えて行く願いを込め、開催することを決定しました。」開会あいさつをいただき、その後、パークゴルフの成績発表が行われました。

会場内では、老人クラブが前日から下さらえを行なった「いも団子」や「ポテトフライ」を青年部員と実習生たちが協力して揚げ、女性部員も下準備した「愛のおでん」や「極みるくクリムコロッケ」を販売しました。青年部では「男のやきそば」を不慣れな手つきで調理し、「ゆでとうきび」は役員と職員により塩加減を味見しながら茹で上げ、職員による「極みるくデコレーションアイス」には子供も大人も行列ができていました。

ふれあい農園の野菜コーナーは、肉牛同志会のメンバーが丹精込めて栽培したじゃがいもを格安で販売しており、主婦の方々は箱一杯に詰まったいもを重そうに抱える姿が印象的でした。焼肉と販売用の牛肉は、河村組合長の牧場で、あつけしウイスキーの「ウイスキー粕」を与えた厚岸黒牛が、格安で提供され、準備したコンロで焼いている人たちは口々に、「この肉美味しい、やわらかく甘みがあつて食べやすい」など、牛肉に舌鼓を打っておりました。

また、70周年記念として企画した、漁業者の奥様方の協力により、厚岸産のアサリをふんだんに使った「あさり汁」を、限定400食分用意しました。無料で配られたお椀からは、溢れんばかりのアサリにビックリするとともに、絶妙な味付けに来場者たちも満足している様子でありました。

そのほか、業者から提供された取れたてのサンマやイワシも振る舞われ、秋の味覚を大いに堪能していました。

お楽しみ大抽選会の受付にも長蛇の列ができ、大変混雑しておりました。

受付された方は、総勢460名と過去最多人数となり、祭りも大変盛り上がりしました。

ステージイベントとしては、11時30分より「極みるくアイスの早食い競争」が行われ、冷たいアイスに頭を抱える姿に、会場も大いに盛り上がりしました。

12時からは「極みるく早飲みリレー対決」が行われ、一般の部では幼児や小中学生、男性・

女性も入り混じったの対決となりました。

地区別対抗の部では、選抜された6名？男女が、口元から牛乳をこぼしながらリレーを行い、見事、尾幌地区が優勝をおさめました。

また、12時30分からは、山形県出身の工藤あやのさんが、デビュー曲の「さくらんぼ恋いしんぼ」をはじめ、幅広い世代に合った自慢のものを披露する歌謡公演が1時間ほど行われました。アンコールでは、盛り上がった来場者も一緒に踊り、楽しい歌謡ショーが終わり、サイン会や写真撮影にも行列ができておりました。

その後、お楽しみ大抽選会が開催され、阿寒湖畔温泉「鶴雅」ペア宿泊券5組、商品券1万円分20本など過去最多の賞品を用意させていただきました。

また、はずれた方々にはティッシュ5個組が全員に配られました。

最後に、関係者らにより、餅まきも行われ、子供の部、大人の部に分かれ、ひとつでも多くの餅を拾おうと両手を伸ばしたり、帽子をかざすなど、大いに盛り上がりしました。

閉会式では、酪農振興会の片野博次会長よりあいさつをいただき、楽しい酪農祭が盛会に終了いたしました。



閉会挨拶を述べる片野振興会長



パークゴルフ男性の部優勝 山吉さん



パークゴルフ女性の部優勝 石鳥谷さん

JA釧路太田 酪農祭 Album



美味しい
あさり汁が
出来ました！



アイス
クリーム
冷たい！





牛乳の味は
 いかが？



上手な歌を
 ありがとう！
 CD買ったよ！



景品当たったよ！



お餅は
 拾えた？



2番草サイレージ 調整作業終了

～台風や停電などにより作業の遅れ～

最後の刈り取りを待つペレニアルライグラス草地



平成30年8月22日より稼働したコントラによる2番草のサイレージ調整作業ですが、9月20日に3回目のペレニアルライグラス草地のきざみサイレージ調整をもって、グラスサイレージ収穫作業が無事終わることができました。

8月下旬は平年より低めに気温が推移し、加えて降雨や台風に悩まされながらの作業となり、予定より15日ほど収穫作業が遅れました。

また、9月6日に発生した停電では、職員が発電機対応に当たるとともに、石油需給状況もひっ迫するなど、その影響でコントラ作業も中断せざるを得ない状況となり、今年の牧草収穫については、1年を通じて自然災害に悩まされる一年となりました。

春先の低温や夏の長雨や台風、日照不足などの影響により、デントコーンの生育も大幅に遅れ、収量も例年の7～8割程度と予想されています。



9月末に収量調査の結果を踏まえ、10月上旬にはデントコーンサイレージ調整日程を決めると思います。台風などによる倒伏がないことを切に願うところです。

組合員の皆さまをはじめコントラ作業に当たっている方々、最後の粗飼料収穫が、無事故で安全に終了するよう作業に努めてください。

生育が心配されるデントコーン畑 9月18日現在

新・農業人フェア（東京会場）参加

平成30年9月1日(土)に池袋サンシャインシティにて、新・農業人フェア2018が開催されました。

今回は、全国より168件のブースが来ており、北海道根釧地区からは厚岸町を含め8ブースが出展しました。

フェアへの参加者は774名で、厚岸町ブースには、男性4名、女性5名の計9名の方が訪問してくれました。

当日は前回開催の東京国際フォーラム会場よりも200名以上も来場者が少なく、特に酪農関係には、声をかけなければ話ができないような状況でありました。

しかし、このようなイベントに参加し、就農希望者を見つける貴重な機会なので、これからも、本フェアに継続的に出展し、新規就農者やヘルパー希望者や実習体験希望者などの人材確保に取り組んで行きたいと思っています。



浜中小学校の生徒が牛乳工場見学

平成30年9月13日(木)に、浜中町立浜中小学校の総合的な学習の一環で、JAの牛乳工場を見学に来ました。

浜中小学校の生徒4名と教諭1名が、厚岸町の酪農をテーマに、当JAの「あつけし極みるく65」の製造過程の見学をされました。生徒と教諭の5名は製造担当の遠田職員の説明を聞きながら、工場を見学しました。

その後、酪農支援センター会議室において生乳の流通から加工、販売に至るまでの作業の流れや、「あつけし極みるく65」の特徴やこだわりについて説明があり、子供たちは熱心に耳を傾けておりました。

JAの小さな取り組みが、厚岸町外の子供たちにも理解され、厚岸町の酪農への興味が深まることや、地域社会における第一次産業の大切さを理解いただければ幸いです。



極みるくの製造過程を説明する遠田職員
 生徒も熱心に聞いていました。



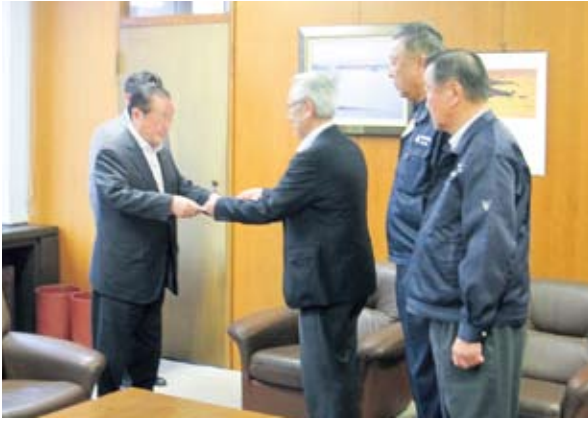
**地震・停電被害を考慮して
 産業感謝祭中止**

（開催経費150万円寄付）

平成30年9月23日(日)に開催を予定していた第10回あつけし産業感謝祭を中止することに決定しました。

厚岸町商工会・厚岸漁協・釧路太田農協の3者で構成している厚岸地域産業振興協議会は、胆振東部地震により被害を受けられた方々のことを考慮し感謝祭を中止して、開催経費である150万円を義援金として、厚岸町を通じて日本赤十字社北海道支部に寄付しました。

厚岸町では、巨大地震が起こる可能性もあり、他人ごとではないと思いますので、被災地や避難されている方々が、少しでも早い復興と日常生活を取り戻せるよう祈っております。



クローズアップ
地域の出来事

今年2回目のJAの庭整備

8月22日(水)に小雨の降る肌寒い中、JAの裏庭や花壇の草取りを行なっていただきました。6月中旬にも草取りなどを行なっていただきましたが、雑草が伸びてきたので、30名ほどの老人クラブ会員の方々が、作業を行ない花壇が整備されました。

次の日には、オンコの木を電動バリカンで手際よく剪定され、庭木も見栄えよく刈りこまれました。

数日後には、M&Mの焼肉ハウスを利用して焼肉をしていた家族連れや子供たちが、きれいに整備された庭の中まわりを探索したり、自由に走り回っておりました。

見えないところで、JAを支えて下さっている地域の方々に感謝しております。

花壇整備や庭木剪定の作業に当たってくれた会員のみならず大変お疲れ様でした。



JAグループ通信

平成30年北海道胆振東部地震及び台風21号により、亡くなられた方々の御冥福を心からお祈りするとともに、被災された全ての方々にお見舞いを申し上げます。

この度の災害に關しまして、各連合会の取り組み内容をお伝えします。

JA北海道中央会



JAグループ北海道では、9月6日、「平成30年北海道胆振東部地震・台風21号に係る農業団体災害対策本部」を設置し、胆振東部地震の被害に対し、緊急的に営農資材や生活物資の支援や農業関連施設の復旧に向け人的支援を実施しました。

政府・与党などに対しては、被害状況や現地が必要とする対策を迅速に伝え、ライフラインや農地・共同利用施設等の復旧、被災農業者の営農継続支援、災害に強い農山漁村づくりに向けた整備など万全の対策を求めてまいります。

また、組合員が、安心して営農を継続できるよう、北海道電力株式会社に対し電力の安定供給ならびに万全な発電・通電体制の構築を要請しています。

JA北海道信連



JAバンク北海道では、窓口対応として通帳等をなくされた方に対して、一定の範囲内でお支払に応じさせていただきます。

また、被害組合員に対する相談窓口を設置し、被災された組合員が今後必要とする資金のお借入れや既往借入金のご返済等に関する相談をお受けする等、関係機関と連携を十分にとりながら金融支援対応に万全を期してまいります。

JA北海道厚生連



北海道厚生連では、行政、JA、関係機関等の協力を得て早期に診療体制の回復に向け対応いたしました。

組合員の皆さまが一日も早く平穏な生活を取り戻すことができますようお祈りいたします。

JA共済連北海道



JA共済連では、9月18日から連日25名体制で被害調査・査定体制を組み、現地に赴き早急に調査・支払いを進め、復旧支援に努めてまいります。

一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

ホクレン



ホクレンは、「北海道胆振東部地震・台風21号対策本部」を設置し、被害にあわれた生産者の皆様の一刻も早い復旧に向け、要請に応じた人的・物的支援を含め、農畜産物の生産、貯蔵、流通の正常化に向けた活動を続けております。

今回の災害に際しましても、協同組合の力を結集し、会員JA・組合員の皆さまが一日も早く、平穏な生活を取り戻すことができますようお祈り申し上げますとともに、ホクレンとしての役割を今後も全力で果たしてまいります。

今年の牧草給与について パートⅡ

(1) 食わせるための環境改善

換気の促進（湿気た空気の排出）

臭気と湿度は採食量に影響します。

搾乳牛の場合は気温がプラスであれば寒冷ストレスは大きく影響しません。新鮮な外気を入れて、湿度の高い空気を排出しましょう。

〈フリーストール牛舎のポイント〉

側面のカーテンを開け、入気を確保する(図1)。

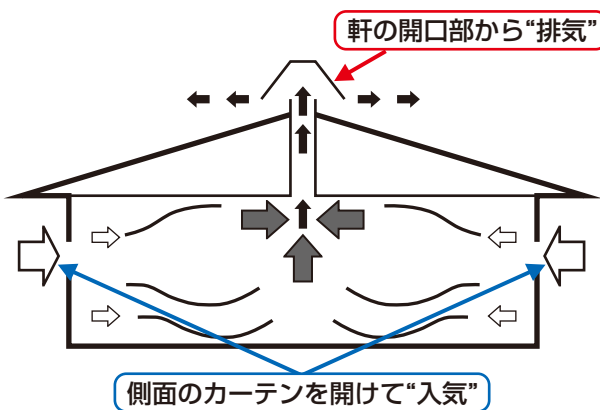


図1 フリーストール牛舎の空気の流れ
『入気があって排気ができる。』

〈繋ぎ牛舎のポイント〉

- ①窓・扉を開けると、温度差で外気が牛舎に進入
- ②扇風機を回し、天井近くの湿った空気を排出

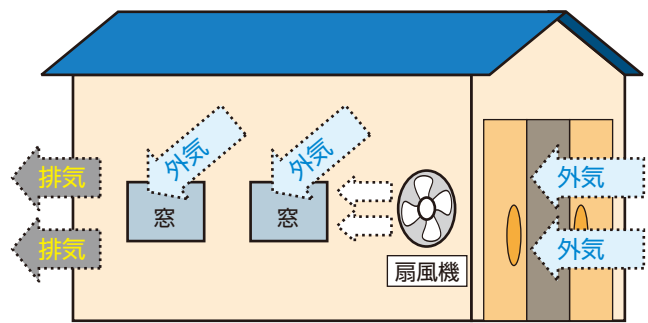


図2 繋ぎ牛舎の空気の流れ
『窓開放と扇風機のコンビネーションで換気効率アップ』

牛が飲みたい水の確保

牛乳の最大の成分は水です（牛乳の水分は約88%）。搾乳牛では1日に120ℓ、乾乳牛でも60ℓ以上の水を飲みます。牛が飲みたいときに飲みたいと思うよう、水槽・ウォーターカップの掃除を習慣にしましょう(写真1)。



写真1 ウォーターカップの草は取り除く

(2) ここは注意して

サイレージの水分が多いときは、給与量を増やしましょう。

水分の違いが乾物摂取量では大きな違いになります。

例を出すと、サイレージを50kg給与したとき

- ・サイレージの水分 **60%**のとき
乾物給与量 $50 \times 40\% = \mathbf{20kg}$
- ・サイレージの水分 **80%**のとき
乾物給与量 $50 \times 20\% = \mathbf{10kg}$

水分20%の差が給与量では2倍もの差になります。

水分を意識して、高くなれば、給与量(生重量)を増やしましょう。



生重量は一緒でも、水分が高くなると乾物重量は少なくなる!!

写真2 生重1kg(1,000g)の水分と“かさ”の関係

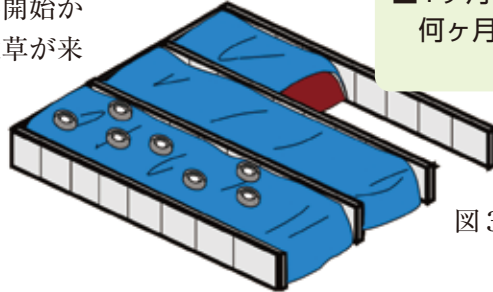
牛は、毎日同じ量の草を食べるとは限りません。

食べないからと給与量を夏のまま少なくしていても、牛はもっと食べられるかもしれません。食い込みのいい草の場合も残飼は5%程度です。残飼が減れば、給与量を増やしてください。また、残飼が増えた場合は、1日で急激に給与量は減らず、2日ほど様子を見てください。

(3)来春までの飼料給与計画を立てましょう。

今年の牧草の収穫量と給与開始からこれまでの消費量から、牧草が来年まで足りるか否か、計算しましょう。不足する場合は、早めに対処しましょう。

- 2、3番草の併用
- 外部からの購入



■長さ40mのバンガーサイロ3本できた。
 ■1ヶ月で15m進んだ。
 何ヶ月保つか… $40 \times 3 \div 15 = 8$ ヶ月

4ヶ月分の不足

図3 サイレージの在庫量の確認例 (イメージ)

家族みんなの「声かけ」で安全確認をしましょう。(秋の全国農作業安全確認運動展開中です。)

■お問い合わせ先／普及センター東部支所 TEL.0153-65-2021

JA Information

JAくしのおおち 10月 行事予定

平成30年

1 (月)	購買課実地棚卸	17(水)	Aコープ特売
	農業技能評価試験 (2年目11名)		乳牛市場
2 (火)	育成市場	18(木)	一般市場
	新和衣料品外販 (~6日)		24(水)
4 (木)	一般市場	25(木)	酪農実習生受入協議会役員視察 (~26日)
5 (金)	女性部フレッシュミズ部会酪農勉強会		一般市場
8 (月)	体育の日	26(金)	町営牧場退牧
11(木)	新和衣料品外販 (~13日)		JA役職員ボウリング大会 (職員会)
	よつ葉乳業(株)根釧工場長杯パークゴルフ大会	27(土)	町営牧場退牧
	一般市場	29(月)	女性部ジョイライフ試食会
女性部秋季視察研修 (日帰り)	町営牧場退牧		
16(火)	農協創立70周年記念旅行 (~19日)	30(火)	馬市場
			JA牧野退牧 (予定)

●購買課からのお知らせ●

**10月1日(月)より
営業時間を変更します。**

- Aコープ：毎週土曜日 8：40～12：00まで (午前中営業)
- スタンド：毎週月曜日～土曜日 8：30～17：00まで

■ソフトクリーム販売：10月13日(土)12：00で、今年度の販売は終了します。
 来年度は4月頃より販売する予定です。

みんなの広場

コミュニケーション

読者の

ベストショット



9月6日の北海道胆振東部地震の停電の影響で酪農家の方々も大変な思いをされていることと感じております。元の生活を取り戻すまで、まだまだ時間がかかると思いますが、いち消費者として陰ながら応援させていただきたいと思っております!!

(ペンネーム/イデっち、あん子の母)

すっきりと晴れた空と大地のコントラストに秋を感じます。酪農祭が楽しみです。

(ペンネーム/コンサ大好き親父)



撮影者/片無去のプロカメラマン?



(ペンネーム/M.K.)

9月号のまちがいさがしの解答

- ② 煙突から煙が出ていない
- ④ 木に枝がある
- ⑦ 虫の出方が違う
- ⑨ マツタケのかさが開いている
- ⑫ きのが少ない

9月号の当選者は5名です。おめでとうございます。当選者にはJAより連絡致します。

記事・写真・イラストなど

大募集!!

身近で起きた出来事やベストショット写真、JAに対するご意見・ご要望など、読者の皆様からのご応募お待ちしております。

別紙の応募用紙に氏名・住所・電話番号を記入して、JA釧路太田事務所・Aコープおおた店・ホクレン太田・尾幌スタンド・酪農支援センターにある応募箱に投函してください。

編集後記

9月1日は「防災の日」であり、台風や地震などの災害についての認識を深め、災害に対処する心構えを準備するため制定された日です。防災訓練などが各地で行われた中、9月6日未明に胆振東部地震が発生し、全道で停電という「ブラックアウト」が発生。

普段何気なく生活している中で、電気や水などのライフラインの大切さを改めて実感しました。皆さんも日頃より、災害に備えて準備されていることと思いますが、いま一度家族や会社などで再認識していただき、最善の準備を心がけ日々の暮らしをしましょう。

酪農祭も終わり、10月にはデントコーン収穫や組合員旅行・70周年記念誌の発行など、行事などもたくさんありますが、今年もあと3カ月余り、毎日の平穏な暮らしが一番幸せだと思う今日この頃です!

編集担当/H・M